

# 国各

# 九州版

県産材流通促進機構と同種の機構を設け、九州全体としての取り組みを行う——などを挙げ、同種の議論が

双方一体にならないと大きな力は生まれにくい。マスコミなどに働きかけて国民的な議論にまで高めるべき」と同調した。

一方、宮崎県木連の横田欽一郎会長は「宮崎県では15、16年にかけて素材生産量は伸びたが、住宅ローン減税のような需要の刺激策がなくなれば再び落ち込む

説明を求めた。これについて森林整備部長の小原文悟氏は「まず需要のパイを広げないと生産量は増えない」と述べたうえで、市場に流れて価格低下を招きやすい立木販売を抑え、需要家に直接供給するシステム販売の割合を増やす方針を説明。「蓄積量の豊富な国有林が安定供給

## 長いトンネル抜け黒字決算

### 大分県木連、平山会長が再任

大分県木材協同組合連合会（大分市、平山茂雄会）はさきごろ、大分市内常利益で860万円、当期利益で830万円を計上

し、長年の厳しい時代を抜けて黒字決算を果たしたことが報告された。また役員改選（後日の理事会）では平山会長の再任を決めた。平山会長は総会当日の懇親会で「長いトンネルだったが、当協組もついに黒字決算をすることができた。

いえ、伐採を増やせば競争

全木連が今年も働きかけ

力が必要」と語った。

「加工だけならコストに占める割合が少なく、機械化は投資過多になる」（コン

ポーンテ社社長が、そのコンポーンテ社社長の合理化が求められているという。

## 2x4の生産性CADDで向上

### 軸組プレカット並の自動化を

#### —祖父江久好ネットイーグル社長

「機械化の遅れ」と指摘する。工務店に施工の合理化をもたらししたのはコンポーンテ会社だが、そのコンポーンテ会社社長の合理化が求められているという。

「加工だけならコストに占める割合が少なく、機械化は投資過多になる」（コン

ポーンテ社社長が、そのコンポーンテ社社長の合理化が求められているという。

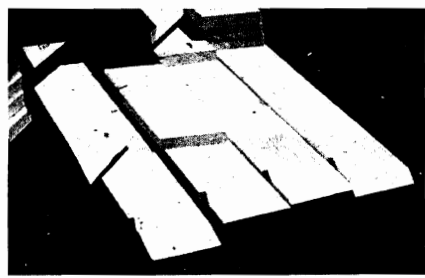
2x4住宅の04年新設着工は前年比11・3%増の9万706戸。96年の9万3693戸に次ぐ過去2番目の高水準を記録した。今年1~4月の累計は前年を5・3%上回りの需要はいまも拡大中だ。

好調な需要を受けてコンポーンテ会社の受注は活発だが、高収益を謳歌する企業は意外にも少ない。低成長期に進められたパネル



祖父江 社長

在来工法に比べ材料の種類が少なく、熟練した技術も要らない2x4工法。もともと合理的な工法として普及したため、生産工程の機械化という点では軸組住宅の後塵を拝する。例えば



細かな欠き加工まで機械化できる。ネットイーグルの2x4CADDは羽柄材加工機とCADD/CAMで連動し、CADDで作成した図面どおりに加工できるうえ、番付けや墨付けも自動化できる。現場加工も不要で取り付け位置もはつきりすれば、パネル化しなくても建て方は容易。パ

パネル化が1割とすればプレカットで現状比9割の削減効果が見込める。CADDの普及はこれからだが、いまのところコンポーンテ会社より在来軸組工業化によってさらに生産性を向上させれば、一段と競争力が高まるはず」と祖父江社長は期待している。